

ご意見と事務局の考え

意見14（平成16年1月受付）

（長岡市在住）

地域委員会の設置について、具体的な組織や将来の継続性も提唱されておらず周辺市町村が信用しているか疑問に思います。今回の合併は長岡市民から見ても長岡中心で進んでるように思えてなりません。他地域に比べ地域委員会など周辺市町村へ配慮していると思いますが、より周辺市町村へ権限や市職員配置を委譲すべきでしょう。見附や小千谷が合併を否とした理由も理解できます。全国が注目するほど地域分権を推進して下さい。

事務局の考え

今回いただいたご意見の内容については、当ホームページに掲載してありますご意見13の内容とほとんど同じですので、そちらの事務局の考えをご覧ください。

地域委員会の組織や継続性とのことですが、組織については、協議会構成市町村の全戸に配布しました任意合併協議会報告書のP7、8に掲載されているとおりです。また、設置期間は、合併の日から概ね10年間とすることとしています。その後については、その時点で延長するかどうか議論をすることとしています。

現在、長岡周辺地域の多くの方が、買い物や通勤・通学などで長岡市に来ており、経済活動などは長岡市単独で成立しているわけではなく、現在の長岡市の税収は周辺地域の皆様にも支えられているのが現状です。このことから、周辺市町村が寂れることは、長岡市にとっても困った状況になるということでもありますから、共存共栄してまちづくりを進めることが必要です。

今後、どうしたら地域住民の皆さんが合併してよかったと思えるまちになるかを第一に考え、協議会構成市町村で議論していきます。

その結果として全国から注目されるほどすばらしい新市になればと考えます。

意見13（平成15年12月受付）

（長岡市出身）

新長岡市は地域自治など周辺市町村へ配慮しているものの、対等合併でないことから現長岡市主導（お山の大将）と思えてなりません。多くの周辺市町村の方はそう感じているでしょう。合併予定の周辺市町村または現長岡市の周辺部も含め、各地域に権限や職員を分散し本庁の機能を軽くすることが必要と思います。長岡市以外の市町村は旧市町村名を捨てるだけで相当の妥協をしています。見附市や小千谷市が合併を見送った気持ちも分かります。名実ともに「吸収」にならない取り組みが現在以上に不可欠と思います。

事務局の考え

任意合併協議会での協議の結果、合併の方式は「編入合併」に、合併後の新市の名称は「長岡市」に決定されましたが、この決定は、当ホームページに掲載されています協

議会の会議録をご覧いただければ分かりますとおり、長岡市一市の主導で決定されたものではなく、協議会構成市町村で議論を重ねた結果です。

特に、「合併の方式」の議論では「編入合併に決定されたとしても、地域自治という観点から、合併後も旧市町村で独自の施策として必要なものが予算の執行権をつけて残せるならば、合併による住民の不安や懸念は解消されるだろう」という多くの委員の意見がありました。そのうえでの編入合併であれば、事実上、精神は対等合併と同じであるということで協議会で決定されました。

合併後の本庁と支所の機能については、任意合併協議会では地域自治のあり方のなかで議論しており、長岡市以外の旧市町村単位に支所を設置して、通常の住民サービスのほかに、地域固有の業務を行う地域振興部門を置くこととしております。また、当該地域の施策やまちづくりについて地域住民の立場から検討し、行政に反映できるよう、住民の皆さんが主体の地域委員会（仮称）を設置することとしています。このように支所と住民の皆さんの連携により、住民の意向に沿ったまちづくりを実行していきます。

意見 1 2（平成 1 5 年 1 2 月受付）

（小国町在住）

小国町は住民投票で長岡との合併を選択したものの小千谷市との生活面の結びつきも強く公共施設（図書館・体育施設）の利用も小千谷市に依存する面もあります。小千谷市も長岡地域南部の自治体として一緒に合併しまちづくりができれば幸いです。残念ながら当面は自立を選択するようです。ただ将来的に合併できるよう相当の権限を委譲することも含め小千谷市へ働きかけてほしいと思います。小千谷市のホームページの掲示板（みんなの掲示板）では長岡地域との合併を望んでいる声もあることが推測されます。（<http://www.city.ojiya.niigata.jp/>）また今後、小千谷市の公共施設が利用できなくなるようなことのないよう働きかけていただきたいと思います。

事務局の考え

おっしゃるとおり、従来から小千谷市と長岡地域の各市町村との結びつきは大変強いことから、森会長は長岡市長として 40 万都市構想を掲げ、小千谷市にも合併を呼びかけておりました。しかし今回、小千谷市では当面の間は自立していくことを選択されたようであり、そのことは大変残念に思います。しかし、中越地域全体の発展につながるまちづくりをしていくためには、長期的視点で、今後も合併を呼びかけていきたいと思えます。

また、図書館や体育施設などの公共施設の利用に関して、小千谷市を含む長岡地域広域市町村圏の 13 市町村では、以前から住民の方々が共同利用できることとなっており、今後もこれまでと同様に広域連携を図っていき、住民の方々が共同利用できるように、関係者で前向きに話し合っていきたいと思えます。

意見 1 1（平成 1 5 年 1 1 月受付）

（長岡市在住）

中核都市への道が遠くなり、5万人の市も29万人の市も自治権としては、大差ありません。目標がなくなった今、高齢化率を上げるために合併するような気がしてなりません。行政効率の向上による人件費の削減も給与の低い他自治体職員の給与が長岡並になると割増しになり効果が感じられません。高齢化率と職員給与の増加について市民に数値を示し説明して合併についてアンケートをとったらいかがでしょうか？また、政令指定都市になり区役所制度による自治権をあたえられれば、合併しても良いとほとんどの自治体が考えています。柏崎刈羽を含め50万として政令指定都市を目指す以外に近隣市町村の協力は、得られないと思います。17年の合併には、不可能にしても10年以内に政令指定都市を目指す合併を行うと宣言したほうが近隣市町村の協力が得られるのではないのでしょうか？

事務局の考え

見附市が任意合併協議会から離脱したことにより、合併しても中核市の要件を備えなくなりましたが、中越地域全体の発展のためには、合併により引き続き行財政基盤の強い自治体作りを行う必要があると考えております。

したがって平成17年3月という期限にこだわらず、引き続き小千谷市・川口町・三島郡等の地域はもちろん見附市にも呼びかけ、長期的な視点に立って、40万都市の実現を目指し努力していきます。

また、この地域では、交通・通信手段の発達や経済活動の広域化に伴って、現在の市町村の行政区域を越えて、長岡市を中心とした買回品購買、通勤・通学、外来通院など日常生活圏が一体化している状況があります。

合併により長岡市の高齢化率は上がるかも知れませんが、同じ日常生活圏での共存共栄の観点から、この地域が一体となって少子高齢化などの問題に取り組んでいく必要があります。

また新市職員間の給与ベースの調整については現在検討中ですが、基本的にはできるだけ財政負担にならないようにする方向で検討しています。

合併後の地域自治については、合併による新市の一体化を進める一方で、長岡方式の地域自治（長岡地域任意合併協議会報告書P7~8参照）を検討しており、合併後も地域住民の声を十分行政に反映させるとともに特色ある地域固有業務を引き続き旧市町村単位で行えるようにすることとしております。

意見10（平成15年11月受付）

（栃尾市在住）

もう決まったことかもしれないけど、合併をやめて下さい！！私は栃尾が大好きで、栃尾という名が長岡のものになるのはイヤだし、かなしいです！！栃尾はいなかだし、なにもないけど、栃尾は自然がたくさんあって、栃尾の人しか知らないよさがあるんです！！わがままかもしれないし、合併しないのはムリかもしれないけど、考えなおしてくれとうれしいです。返事はいいりません。ホームページみるので、そこに何かかいて下さい。

事務局の考え

栃尾は自然がたくさんあって良いところだということはよく分かっています。水もおいしいですね。合併しても栃尾の良さを残すよう栃尾が変わらないよう栃尾のみなさんと話し合っていきます。「自分の故郷はそのまま変わらない方が良いから合併したく

ない」という意見をよく耳にしますが、合併しないで単独で行く場合、故郷をそのまま維持していくには大変な苦勞をとまなうこととなります。故郷を現状のまま維持するために合併するんだということを分かって下さい。

確かに合併すると周辺市町村の地域の伝統や文化が失われるのではないかと、合併後には中心部だけが良くなって、周辺部が取り残されてしまうのではないかと、市役所や役場が遠くなり、今よりも不便になるのではないかと、住民の声が行政に届きにくくなるのではないかと、という不安や懸念があります。

その不安や懸念を解消するため、協議会では、合併後も、地域住民のみなさんの声を十分行政に反映するため、旧市町村単位に支所を設置して、通常の住民サービスのほかに、地域固有の業務を行う地域振興部門を置くこととしております。また、地域の施策やまちづくりについて地域住民の立場から検討し、行政に反映させるために地域委員会を設置することとしています（長岡地域任意合併協議会報告書 P7～8 参照）。

このように栃尾市の良さを残すためにも、どういう形で合併したらよいか今後とも真剣に議論していきますので安心して下さい。

意見 9（平成 15 年 1 1 月受付）

（栃尾市在住）

見附市が離脱し中核市への移行が難しくなりましたが、人口・地理的条件から小千谷市をパートナーとして早急に合併の申し入れを行うべきと思います。「周辺市町村へも門戸を開いている」ではお山の大将との印象を与えかねません。長岡地域が頭を下げるくらいの姿勢が必要でしょう。小千谷市は小国町・山古志村・越路町との関係も深いため、小千谷市にとっても好条件だと思います。勿論、吸収でなく第二の拠点とするくらいの施策が必要でしょう。

事務局の考え

「合併」は、より良いまちづくりを行うための目的ではなく手段であります。そして、これまでは合併直後に人口 30 万人を満たすため、「中核市」という、まちづくりの目標を掲げてきたわけです。「中核市」になるだけのために、合併の議論をしてきたわけはありません。ここが重要なところですよ。見附市が自立を選択したため、現時点では、中核市の要件を備えなくなりました。これは確かに残念です。しかし、既にこの地域では 13 市町村が広域行政を行っています。これはなぜでしょうか。共に行政を行った方がまちづくりに役立つと考えているからです。後は、各市町村が、それをさらに強力に推進する手段として「合併」を選択していくかどうかなのです。

長岡地域に小千谷市が加われば、30 万人という要件を備えることができますし、中越地域の発展のため 30 万にとどまらず 13 市町村で合併し 40 万都市の実現に努力していきます。

しかし、小千谷市がこれからのまちづくりに「合併」という手段を選択するかどうかは、長岡地域からの強い要請もさることながら、その決定に関われる小千谷市の市民、議会、首長など関係者の自主的な議論や行動が鍵であることは、是非、御理解いただき

たいと思います。

これから長岡地域は、合併により行財政基盤の強い自治体を作っていきます。そして、それが中越地域全体の発展につながっていく、この姿勢に変わりはありませんので、これからも御支援をお願いいたします。

意見8（平成15年11月受付）

（川口町在住）

長岡市長は小千谷市や川口町、三島郡も含めた40万都市を目指すと言っていました。その後の動きが分かりません。本当に望むのであれば長岡側から積極的に声を掛けて頂きたいと思います。吸収合併であれば抵抗はあるものの「長岡方式」の分権型であれば前向きに考えると思います。

新潟市と岩室村、三条市と田上町、上越市と中郷村などが県内で飛び地合併を目指しています。また、川口町は3年後には、人口が県内で最も少ない自治体になることへの不安も抱えています。川口町では小千谷市ではなく長岡地域と飛び地合併でも良いので合併を望む声が最近増えつつあります。

事務局の考え

第2回協議会の冒頭で、40万人都市構想について、森会長が長岡市長として、平成6年から長岡地域広域行政組合として既に広域連携している長岡地域広域市町村圏の構成13市町村での合併を目指す考えを示し、小千谷市、川口町など5市町村に対して合併協議への参加を呼びかけたことを説明しました。そして、長岡地域任意合併協議会としては、今後これらの市町村から協議会参加の申し出があった場合、その時点であらためて協議することが確認されています。

その後、5市町村から参加の申し出は受けておりませんので、40万都市構想の協議はしておりません。当初からの8市町村による協議が続いているわけです。したがって、長岡地域の門は開いておりますが、叩くかどうかはあくまで各市町村の判断になりますから、50年に一度あるかどうかの大きな選択を、川口町の中でよく議論いただきたいと思います。

意見7（平成15年10月受付）

（越路町在住）

1. 合併しないと、これから交付税その他が、少なくなり、いずれ何もできない町になり、税負担が多くなるだけの町になるので、今の時期に町民の希望が反映されるように、積極的に前向きに合併したほうがいい。
2. 昨日、一部の町会議員連名で反対チラシが配布されたが、町民をまどわすだけの、内容がないチラシに、愕然とした。8月の選挙に言わず今になって、町民を浅く思わせることは、悲しい。こんな議員に町を任せられないと思いました、やはり長岡に合併したほうがいいと決断しました。

意見6（平成15年9月受付）

（埼玉県在住）

長岡は政令指定都市にはもちろんなれないが、独自の条例で合併後の市を数ブロックに分け××区などとしてはどうでしょう。権限も大幅に移譲する。本庁は出来る限り少ない人数とし一極集中を避ける。IT社会だから管理部門も現在の全て現在の長岡市に置く必要はない。面積も広く産業や地形、気候（積雪量）も多様な地域だから全国に例のないほどの分権型の都市を目指すべきでしょう。将来、小千谷市や三島郡と合併する時も、抵抗なく円滑に合併できると思う。

事務局の考え

任意合併協議会では、一極集中になるのではないかと、伝統が失われないかという地域の不安を解消するために、地域自治研究会を立ち上げて「長岡方式の地域自治」を研究しています。そして、長岡市以外の市町村の市役所や役場を支所として通常の住民サービスを行うことや、旧市町村で特徴のある事業や地域固有の業務（除雪、まつり、イベントなど）を支所で行うことが決定しています。また地域固有の業務には、支所長が予算要求権限、予算執行権限及び事務執行権限をもつことも決定しています。したがって、当長岡地域は「長岡方式の地域自治」により、統一（全市で一つになるもの）と分権（地域で大切にするもの）のバランスのよい都市が実現できるものと考えます。

なお、管理部門については、本庁で取扱うことが協議会で承認されています。

意見5（平成15年9月受付）

（栃尾市在住）

長岡地域は積雪の少ない平野部も多く合併後の道路除雪や豪雪対策への補助など従来通りに行われるか不安も残ります。栃尾市は長岡市街地の方には考えられないほど積雪もあり、さらに山間部や隣の山古志村では暖冬でも3mを越える積雪となります。合併後の雪対策は最低限でも従来の市町村のレベルを保つとともに、常に雪深い地域の方と同じ目線で行政も接してほしいと思います。できれば具体的な雪対策を早く出してほしいです。

事務局の考え

任意合併協議会では、合併後に地域住民の声が行政に届きにくくなるのではないかと不安を解消するにはどうしたらよいかを話し合うため、地域自治研究会を立ち上げました。研究会では合併後の旧市町村単位に支所を設け、窓口業務等の住民サービスのほかに、除雪などの地域固有業務を支所の権限で行うことが話し合われ、協議会で承認されました。従いまして、合併後においても支所（旧市町村）の方針により地域の実情に応じた除雪が行われます。

意見4（平成15年9月受付）

（小千谷市在住）

公共工事や各種委託業務、備品の納入、印刷など各自治体を取引先としている民間企

業もあります。長岡市に編入合併した場合、元々長岡市と取引関係があり本庁にも近い長岡市内の業者に業務が集中することが考えられます。公正な競争や入札は必要ですし自治体とナアナアな関係は良くないと思いますが、ある程度旧自治体にも、取引先選定の権限を残すべきと思います。もちろん、談合や過剰な接待は論外ですが、地域密着の取引業者を没落させない施策も不可欠でしょう。

事務局の考え

任意合併協議会では、地域自治研究会を立ち上げて「長岡方式の地域自治」を研究しています。

そこでは、合併後も長岡市以外の旧市町村単位に支所を設置して、通常の住民サービスのほかに、地域固有の業務を行う地域振興部門を置くこととしています。また、支所の権限として地域固有の業務に係る予算要求権限、予算執行権限及び事務執行権限を有することとしています。

従いまして、合併後も本庁だけでなく、支所（旧市町村）においても、契約等の事務手続きを行うこととなります。

意見3（平成15年8月受付）

（中之島町在住）

東京暮らしで、疲れて、田舎（中之島町）に、帰郷するのが、一番のリラックス出来る場所なんです。できれば、このままずっとかわらない、街でいてほしいです。

事務局の考え

故郷は生まれ育った落ち着く場所であり、合併したら中之島らしさが失われるのではないかという懸念があるのだと思います。合併後においても、それぞれの地域で育まれてきた歴史、伝統、文化などを尊重した地域づくりが大切と考えます。任意合併協議会では、合併後の旧市町村の支所に、地域のまつりや特色のある事業など地域固有業務を行う地域振興部門を置くこととしました。また地域の施策やまちづくりについて地域住民の立場から検討し、行政に反映させる地域委員会（仮称）を設置することとしております。従いまして、合併後においても今までどおり地域の個性を尊重したまちづくりがされていくものと考えております。

現在、少子高齢化や市町村の財政状況の厳しさなどから、地域社会の様子も変化してきています。そのような中でも、それぞれの地域の良いところをきちんと残していくため、真剣に市町村合併に取り組む必要があると考えております。

意見2（平成15年6月受付）

（長岡市在住）

市民の生命維持がまちのビジョンの基本事項と考えます。それには、食糧とエネルギーが自立していること、食糧とエネルギーの自給率向上を、まちづくりの基盤として考えてください。新市将来構想の基本理念に食糧とエネルギーの自立を入れてください。

意見1（平成15年5月受付）

（長岡市在住）

- 1 .従来からあちこちの市町村で皆同じような美術館や温泉施設その他多くの赤字を抱え、利用者が少なくしかも利用している人の大半は公務員というような施設が惜しみなく建設され、それぞれの地方公共団体が建設業者対策かと思えるような発注をし、無駄な予算が目に見えほど使われてきました。このような無駄は近隣市町村が合併すれば施設統廃合など民間並の合理化が可能になり、さらに今後、建設を要する物件が出てきても重複を避けることができ、そのほか道路なども有機的に、しかも少ない予算で建設が出来るのではないかと期待しています。もっとも予算が今までより少なくなったからといって、従来のように無駄遣いをしたり、体質を改めねば今よりもっと悪くなる可能性もありますが。
- 2 ・合併する市町村の名前は「長岡市」にして頂きたい。直江津市と高田市が合併して上越市になるというような安易な名前につけないで頂きたい。中越市などは絶対反対。歴史も文化も感じられない無機的な市町村名はどうか考えないようお願いしたい。合併するほかの市町村のことも考えるべきだという意見もあるかもしれないが、例えば栃尾市の場合は「長岡市栃尾区」のように栃尾を残せばいいのではないかと。